『東日本大震災 首都圏主婦の行動レポート』の電子BOOKを発行 App Store、Android Market、雑誌オンラインなどで無料配信開始！

リビング新聞グループが主婦の生の声を大調査
大震災を経験した多くの主婦の気持ち・行動が明らかに！

◆タイトル：『東日本大震災　首都圏主婦の行動レポート』デジタル版

◆価格：　0円（無料配信）

◆配信先：【App Store】http://itunes.apple.com/jp/app/id458599557?mt=8
【Android Market】https://market.android.com/
【雑誌オンライン】http://www.zasshi-online.com/

◆内容：
女性のための地域生活情報紙「リビング新聞」を発行するリビング新聞グループのマーケティング・カンパニー「リビングくらしHOW研究所」では、東日本大震災後、約3カ月間で計6回のアンケートを実施。
刻々と社会が揺れ動き、変化するときに、多くの主婦が何を考え、どう行動しようとしたのかを調査しました。

この度、この調査レポートを電子BOOKとして、無料配信を開始いたしました。

レポートは４つの章で構成。データだけではなく、主婦のナマの声（フリーアンサー）もふんだんに掲載しています。

第1章
2011 年3 月11 日、とうとう大震災が来た！

① 平日の午後、主婦は一人で自宅で揺れた
② 電話もメールも不通、家族との連絡に四苦八苦
③ 働くミセスや乳幼児ママには特に大変だった、品切れ
④ カラッポのスーパーの棚、山盛りのカゴを見て急に不安に

第2章
「がんばれ東北」に、主婦もがんばります！

① 普段は節約志向だけど、今回の義援金は多めに出します
② 主婦ならではの「もったいない＆お得」ワザを支援に活かす
③ 被災地を「お買い物」で支援、それが主婦の心意気
④ 自粛はNO！　経済を回さなきゃ…でも本心は、少々疲れ気味

第3章
やってみたらけっこうイケる!?　停電＆節電ライフ

① 突然の「計画停電」、ホントに電気が消えちゃった！
② 今までも節電してたけど、さらにもっと節電してます
③ 主婦として不安なのは「食の安全」&「冷蔵庫」
④ いくら節電とはいえ…それは、ちょっと困ります

第4章
未来は不安がいっぱい。それでも「消費者」としてがんばります

① 3 カ月が経過、「将来への不安」はまだまだ高レベル
② 節約も消費も大事。難しくなった「主婦の判断」
③ 今日のお買い物が未来を支える、「消費者として社会に貢献したい」
④ この企業のがんばりに拍手！　消費者と企業の絆で、元気な日本へ

【イメージキャプチャー】

最後になりましたが、今回の震災でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された皆様、地域社会の、一日も早い復興を願っております。

リビングくらしHOW研究所　http://www.kurashihow.co.jp　TEL：03-5216-9420　担当：西／大田